

【平成 30 年度 自己評価結果公表シート】

認定こども園 長岡みのり幼稚園

1. 本園の教育目標

*明るく元気な子ども
*自ら進んでやる子ども
*友だちと仲良く遊ぶ子ども

2. 本年度の目標・計画

0 歳 児	生理的欲求を満たした生活リズムをつかむ
1 歳 児	行動範囲の広がり、探索活動を盛んにする
2 歳児 (満 3 歳児)	象徴機能や想像力を広げる
3 歳 児	身近な仲間や自然等の環境と積極的にかかわり、意欲を以って活動する
4 歳 児	信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする
5 歳 児	集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評 価 項 目	取 組 み 状 況
認定こども園の教育及び保育課程の編成実施に関して、教職員間の共通理解を図る。	教育・保育要領の理解を全教職員で、積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について研修参加、職員会議、話し合いを行った。
認定こども園の現状を踏まえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	認定こども園に求められている社会的なニーズの変化、これらの背景を踏まえ、本園がこれから長期的にどのような子育て支援、地域ニーズに相応できるか具体的に検討をした。
教育の質の向上の為に、園内研修を充実させる。	在園児の発達のとらえるための研修、職員会議を定期的実施するとともに、日々の子どもの姿について情報の共有、意見交換の機会を積極的にもち自由闊達に意見が開示できる環境を作っている。
保護者及び地域ニーズ把握につとめ、要望等に適切且つ積極的な対応を図る。	保護者と、お便り帳、園報、学年だより他、ホームページ、通信媒体を積極的に活用し、ニーズの等の把握を積極的につとめた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることが出来、それを実践する礎とすることができた。

5.

今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	当園の学校安全計画の教職員への周知と更なる推進の取り組みと意識づけ 地域関係機関との連携強化 新たな危機事象の想定と、その検証
支援の要する子への対応	小学校への接続・連携の為の課題の整理
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則った当園の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待することも園像を把握し、現代社会に於いて求められている姿を把握することで本園のビジョン策定の一助とした い。
子育て支援の充実	地域の子育て世代への積極的な支援策、ビジョンの作成

6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、みとめられた。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。